

第5学年 外国語科学習指導案

令和4年11月30日(水)
第5校時 13:40~14:25
5年1組 15名
学級担任 八坂 美佐
外国語指導助手 木村 友美

1 単元名 エイデン先生が喜んでくれる給食メニューを提案しよう！
(『Junior Sunshine 5』(開隆堂) Lesson8 「What would you like?」)

2 単元について

(1) 教材について

- 本単元をとおして児童に付けさせたい力は、「自分たちで思いをもって考えた特別な人への給食メニューを、他者に配慮しながら発表することができる力」である。
- 本題材では、英語にも場面に応じた丁寧な表現があることに気付かせることから始まり、ALT や栄養教諭に自分たちが考えた献立メニューを提案するというゴールにむかって、様々な料理や味覚を表現する言い方を知り、丁寧な表現や既習の英語表現を用いて、試行錯誤しながら工夫して自分の考えを発表することを目標としている。
- 子どもたちにとって「食」は、身近であり生活の中で不可欠であることから、日本語と英語での表現の違いなどこれまで意識していなかったことへの新たな気付きをもつことができ、興味を持続させながら学習することができる。また、これまでの学習で慣れ親しんだ表現や語彙を使いながら、場に応じた表現を使ってコミュニケーションをとることの楽しさや必要性を経験することができる教材である。

(2) 児童について

- 令和3年度に実施した英検ESGにおいて、特に「話すこと」を苦手としている児童の割合が多かった。問題別での分析によると、イラストに関する質問に答える問題よりも、自分のことについての質問や自分のことについて発表できることを問われる設問において、特に正答率が下がっていた。
- 本学級の児童を対象にパフォーマンステストを実施した際、英検ESGの結果同様に、自分のことに関して伝えたいことを学んだ英語表現を使って、単語ではなく文で答えられた児童は4割程度であった。絵や写真を見てわかった事柄について、十分に慣れ親しんでいる内容であれば相手に伝わる声、発音で話せる児童は7割程度いるものの、自分のことについて考えをまとめ、発表することができる児童は半数を下回り、「わからない」等と日本語で答えるなど、英語で話そうとする意欲が低下している傾向にあることがわかった。
- 「話すこと」において、自分の日課、習慣、できることや好きなことについて、相手に配慮しながら発表する力には課題があり、既習の英語表現を用いて、簡単な語句、表現で相手に伝えようとする活動を普段の授業で経験させながら、伝えようとする意欲の向上を図りたい。

(3) 指導について

指導にあたっては、「他者に配慮しながら発表することができる力」の育成を目指して、以下の①②について計画的・継続的に指導を行う。

① 言語活動の充実

- 本単元で設定する言語活動は、8月に来日し豊後高田市に着任したALT のエイデン先生と豊後高田市のおすすめ給食と一緒に食べるために、丁寧に伝える表現を使って、相手に伝わるように工夫して給食メニューを提案したり、友だちが提案した給食メニューについて具体的な情報を聴き取ったりする活動である。何のためという目的意識、そして誰の為に考え、伝えるのかという相手意識をもち、試行錯誤しながら自分たちの提案をつくり発表する力を育成する。
- 次の4つの要素を大切に、言語活動の充実を図る。

1	目的意識・必然性	エイデン先生に紹介する給食は、ALT や栄養教諭へのプレゼンテーションで決定する。そのため、自分が紹介したい給食について、味や栄養素等の理由をアピールすることが必要となる。プレゼンテーションのアピールの後に、実現してもらう給食が決まることで、相手に伝えたい、理解してもらいたいと目的意識をもって活動に取り組む。
---	----------	---

2	自分の本当の気持ち	自分がエイデン先生に紹介したい給食とその理由を伝え、その給食の栄養素をアピールし、最終的にエイデン先生に紹介する給食を決定する。栄養教諭へのプレゼンテーションをし、実現してもらい、エイデン先生とみんなで給食を食べる。
3	相手意識	自分が紹介したい給食や、その理由が相手に伝わるように、伝え方を工夫する。聞き手は、リアクションの言葉で反応したり、質問したり答えたりしながら聞く。エイデン先生のための自分で考えた給食が十分に伝わるように、伝え方や表現等を工夫して紹介する。
4	コミュニケーションの意義や楽しさ	自分が紹介したい給食について、エイデン先生の好みや栄養素をもとに、食べ物・飲み物を考え伝えることで、自分の思いが相手に伝わった喜びを感じたり、さらに工夫して伝えようとしたりする。

② 言語材料を習得する指導の充実

- 毎時間、教科書等にあるイラストや写真に関する質問をし、必ず英語で答えさせる活動を行う。答え方に困っている場合は、直ぐに英語表現を教えるのではなく、困りを児童とも共有し既存の英語表現で伝えることができないかを考えさせるようにする。
- 教師どうし (HRT と ALT など) や教師と児童など、実際のやりとりをとおして新しい語句や表現に出会わせ、語句の意味を理解させ、何度も使わせ単元全体の中で繰り返し練習させる。
- 授業の導入時には、「Small Talk」を行い、トピックについては、言語活動や単元のゴールに関連する話題にする。そのことにより、単元での新出表現だけでなく、既習の英語表現も繰り返し使わせることで、英語を使って自信を持ち自分のことを伝えることに慣れさせていきたい。会話をつなげることができずにいる児童が多いため、そのための手立てとして、「let's enjoy communication シート」や「学習のあしあとシート」を用い、会話をつなげるための語彙獲得につなげ、会話のための技能向上を子ども自身も自ら意識できるようにしたい。

3 単元の目標

単元の目標	新しく豊後高田市に赴任した ALT に学校給食のよさを知ってもらうために、食べ物や飲み物の語句、友だちが考えた給食メニューについて具体的な情報を聞き取ったり、ALT の好みや栄養バランスを考慮し自分が考えた給食メニューについて発表したりすることができるようにする。
学習指導要領 〔領域別目標〕	(1) 聞くこと イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。 (3) 話すこと【発表】 ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	(知識) 食べ物・飲み物を表す語句や What would you like?等の表現について理解している。 (技能) 食べ物・飲み物を表す語句や What would you like?等の表現についての情報を聞き取る技能を身に付けている。	相手の考えた給食メニューをよく知るために、食べ物や味など具体的な情報を聞き取っている。	相手の考えた給食メニューをよく知るために、食べ物や味など具体的な情報を聞き取るようとしている。
話すこと 〔発表〕	(知識) 豊後高田市の給食メニューについて、給食メニュー・食べ物・飲み物を表す語句について理解している。 (技能) 豊後高田市の給食メニューについて、給食メニュー・食べ物・飲み物を表す語句や What would you like?等の表現を用いて、自分の考えた給食メニューなどを発表する技能を身に付けている。	自分たちの考えた給食メニューをエイデン先生に知ってもらうために、食べ物やメニューについての自分の考えや気持ちを発表している。	自分たちの考えた給食メニューをエイデン先生に知ってもらうために、食べ物やメニューについての自分の考えや気持ちを発表しようとしている。

5 単元指導計画と評価の計画（全8時間）

単元指導計画		評価の計画（◎：記録に残す評価）		
単元のゴール エイデン先生が喜んでくれる給食メニューを提案しよう！		聞くこと・話すこと〔発表〕		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1時	「エイデン先生の好きな食べ物を知ろう」 エイデン先生の好きな食べ物について、エイデン先生からのビデオメッセージや教師とのやり取りを通して、理解することができるようにする。	「聞くこと」 食べ物・飲み物を表す語句や What would you like?について理解している。【行動観察】		
第2時	「エイデン先生の国や世界の国々の給食を知ろう」 エイデン先生の国や世界の国々の給食について、世界の国々の映像を通して、理解することができるようにする。	「聞くこと」 世界の食べ物の名前や国名の言い方を聞いて理解している。【行動観察】		
第3時	「友だちに好きな食べ物を尋ねよう」 好きな食べ物について、食べ物カルタを通して、考えや気持ちを尋ねたり答えたりして伝え合うことができるようにする。	◎「聞くこと」 食べ物・飲み物を表す語句や What would you like?等の表現について理解し、情報を聞き取る技能を身に付けている。【行動観察・記述分析】		
第4時	「真玉小学校の給食を見て、食品の色分けをしよう」 真玉小学校の給食から栄養素を考えて分類し、給食のメニューの英語表現や、給食で使われている食べ物や飲み物の表現に慣れ親しむことができるようにする。	「話すこと〔発表〕」 豊後高田市の給食メニューについて、給食メニュー・食べ物・飲み物を表す語句について理解している。【行動観察】		
第5時	「エイデン先生が喜んでくれる給食メニューを決めよう」 エイデン先生の給食をつくるために、エイデン先生の好きな食べ物や、食べ物・飲み物の栄養素を考えながら、給食メニューを決めることができるようにする。		◎「聞くこと」 相手の考えた給食メニューをよく知るために、食べ物や味など具体的な情報を聞き取っている。【記述分析】	◎「聞くこと」 相手の考えた給食メニューをよく知るために、食べ物や味など具体的な情報を聞き取るようとしている。【記述分析】
第6時 本時	「よりよい提案に向けて、友だちにアドバイスをもらおう」 エイデン先生のために考えた給食について、自分の考えや気持ちを友だちや先生に話すことができるようにする。		「話すこと〔発表〕」 エイデン先生を惹き付ける発表にするために、自分たちの考えた給食について、食べ物に関する具体的な情報を整理した上で発表している。【行動観察】	
第7時	「エイデン先生のための給食をみんなに提案しよう」 エイデン先生のために考えた給食について、自分の考えや気持ちを友だちや先生に伝えることができるようにする。	◎「話すこと〔発表〕」 豊後高田市の給食メニューについて、給食メニュー・食べ物・飲み物を表す語句や What would you like?等の表現を用いて、自分の考えた給食メニューなどを発表する技能を身に付けている。【行動観察】	◎「話すこと〔発表〕」 自分の考えた給食メニューを知ってもらうために、食べ物や味などメニューについて自分の考えや気持ちを発表している。【行動観察】	◎「話すこと〔発表〕」 自分の考えた給食メニューを知ってもらうために、食べ物や味などメニューについて自分の考えや気持ちを発表しようとしている。【行動観察】

6 本時の指導

5年1組	教科	外国語		指導者	八坂 美佐
単元名	エイデン先生が喜んでくれる給食メニューを提案しよう！			時	6 / 全7時間
ねらい	<p>A エイデン先生を惹きつける発表にするために、自分たちの考えた給食について、</p> <p>B ロールモデルを比較し、食べ物に関する具体的な情報を整理することを通して、</p> <p>C 発表することができるようにする。</p>				
評価	<p>【評価規準】</p> <p>エイデン先生を惹きつける発表にするために、自分たちの考えた給食について、食べ物に関する具体的な情報を整理した上で発表している。</p>				
	<p>【観点】 思考・判断・表現</p>			<p>【評価方法】 行動観察</p>	
時間	学習活動	指導上の留意点 (指導及び援助○、留意点・)			評価
		学級担任		外国語指導助手	
2	<p>Greeting</p> <p>あいさつをする。</p>	<p>○あいさつをする。</p> <p>○「How are you」コール</p>	<p>○あいさつをする。</p>		
5	<p>Warming up</p> <p>①スモールトーク “What would you like?” “I'd like ○○.”</p>	<p>○外国語指導助手と会話をした後、児童と会話する。</p>			
8	<p>②2つのロールモデルの違いから、より良い提案をするためには、どのようなことが必要か考えさせる。</p>	<p>○前時で学習したエイデン先生の好きな食べ物や健康について気にしていることを確認する。</p> <p>This is for Aidan. I'd like a salad. I'd like milk. I'd like Curry udon.</p>	<p>・子どもの間違いは、教え込むのではなく、自然な形で言い直す。</p>		
		<p>○どちらの例がエイデン先生を惹きつけるか、理由とともに考えさせる。(T2の発表は、T1とのやりとりをとおして、より詳しくなっている。)</p> <p>○「味」「産地」「栄養」や「考えた給食のテーマ」などの情報が含まれた発表になると、より相手を惹きつける</p>	<p>T2: This is a powerful lunch. This is for Aidan. I'd like milk. I'd like Curry udon. T1: It's good. What does it taste like? T2: It's spicy. This is a colorful salad. It's very healthy. T1: Where is this vegetable from? T2: It's from Bungotakada city. T1: How nice! T2: This lunch is very powerful! Thank you.</p>		

	<p>栄養 味</p> <p>産地 エイデン先生の好み</p> <p>考えた給食のテーマ</p>	<p>プレゼンテーションになることを確認し、本時のめあてを提示する。</p>	
<p>Today's goal エイデン先生をひきつける内容にして発表(練習)しよう!</p>			
4	<p>Activities</p> <p>①前時の表現の確認をする。 前時にエイデン先生が喜んでくれる給食メニューをグループごとに決めたことについて、ipadの写真をもとに想起させる。</p>	<p>This is for Aidan.</p> <p>I'd like (給食メニュー).</p>	
5	<p>③グループで考える。 ホワイトボードをもとに、より良い提案をするために、どんな言葉を使えば良いか、ホワイトボードに書いていく。</p>	<p>○机間指導</p> <p>・グループの中で、話し合いが進まない場合は、教師が問いかける。</p>	<p>・児童の間違いは、教え込むのではなく、自然な形で言い直す。</p>
6	<p>④発表し合う。 グループ①とグループ②、グループ③とグループ④でお互いの発表を見て、良かったポイントや魅力があったポイントを伝え合う。</p>	<p>例① T: テーマは何かな。 S: 健康 T: どう表現したらいい? S: ヘルシーメニュー</p> <p>例② T: どんな特徴がある? S: 豊後高田市で作られた食材を使っている。 T: どう表現したらいい? S: It's from Bungotakada city.</p>	
4	<p>⑤中間指導 アドバイスをもとに、困りを共有する。</p>	<p>・グループの中でも解決できないことは、クラスみんなで困りの共有をし、既習の英語表現で言えないか考えさせる。</p>	<p>○「こういう言い方もあるよ。」 ○児童と活動する中で、助言したり、よりよい表現を教えたりする。</p>
4	<p>⑥アドバイスをもとに、グループごとに引き続き練習する。</p>	<p>○今日の練習で、どれくらい魅力度が上がったかを聞く。</p>	
4	<p>Looking back</p> <p>振り返りカードに記入し、今日の感想を発表する。</p>	<p>○「エイデン先生を惹きつけるために、どんな内容にして発表(練習)したか」を振り返りシートに記入させる。</p>	
<p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちに名産地をいれたらわかりやすいというアドバイスをもらったので、「This is from Matama.」を付け加えた内容にしました。 ・グループみんなで考えて「This is a healthy lunch.」を加えることで、エイデン先生に健康によいメニューであることをアピールできる内容にしました。 			
1	<p>Greeting</p> <p>あいさつをする。</p>	<p>○あいさつをする。</p>	<p>○あいさつをする。</p>